

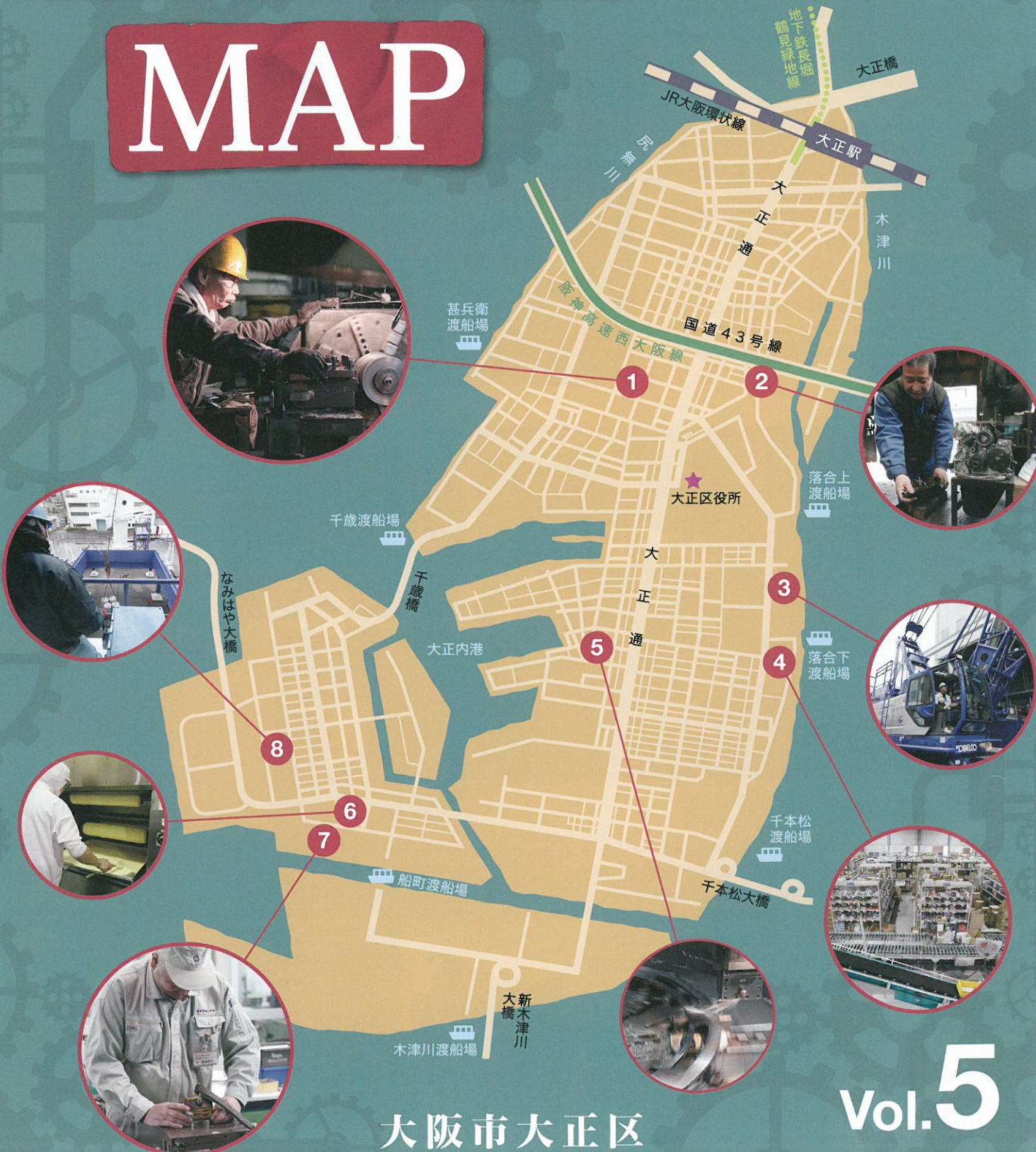
大正

あんなものから
こんなものまで
つくっています

- 1 大正製作所
- 2 大阪自動車機工
- 3 藤井組
- 4 手原産業倉庫
- 5 上田鉄工
- 6 菓子工房 CROWN
- 7 福井精機工業
- 8 大阪港湾労働分所
(ポリテクセンター大阪港)

ものづくり

MAP



大阪市大正区

Vol.5

人材育成



港湾荷役業務の
現場リーダーを養成する

8 大阪港湾労働分所 (ポリテクセンター大阪港)

ポリテクセンター大阪港の訓練生が、両手に握るクレーンの操作レバーを慎重に倒すと、2tの荷に見立てたドラム缶がゆっくりと移動し、目標点に正確に着地した。操作の前に下に人がいないか、ロープが絡んでいないか、荷物は水平を保っているか、「よし」と声を出しながら確認する。分所長の田島幹夫さんは「万が一突風などでバランスを崩して、荷物が落下したら作業員の生命に関わります。ここで安全なクレーンやフォークリフトの操作技術をしっかりと身につければ、生涯にわたって仕事ができますよ」と話す。

日本の物流を支える海運。その荷役業務のリーダーを担う人材を1年かけて養成する訓練施設が、ポリテクセンター大阪港だ。センターからは、近くの大阪港でコンテナの積み卸しを行う高さ100m程のガントリークレーンが見える。その巨大なクレーンを操作し、1時間に何十個ものコンテナを積み下ろす凄腕の通称「ガンマン」は、以前NHKの『プロフェッショナル』にも取り上げられ、訓練生にとっても憧れの存在だ。

●大正区鶴町2-20-21 ☎06-6552-4012
<http://www3.jeed.or.jp/osaka/poly/kowan>



港湾の関連会社ではOBが幹部として多数活躍。30名の同期との絆は卒業後も続くという。



7 福井精機工業

モーターや自動車のタイヤなど、回転する機械のほぼすべてに使われるベアリング。その球体を支えるプラスチック製の「保持器」を作る金型で、世界トップクラスのシェアを誇るのが福井精機工業だ。

同社が取り引きするのは、国内外最大手の自動車部品メーカー。なんと世界中を走る自動車の25%には、同社の製作した金型から生まれた樹脂部品が入っている。

「私たちが得意とするのは『真円度が必要な回転する丸い樹脂部品』です。試作品の開発から、測定・検査・量産金型の生産まで、一貫して行えます」と語るのは専務の清水一蔵さん。前職の広告代理店でセールスプロモーションを担当した経験から、同社の広報宣伝活動にも力を入れている。「自分の働く会社にいる人々が見学に訪れたり、新聞やテレビで取り上げられれば、従業員の士気も上がります。金型は日本の工業技術の粋。大正区の端っこに、金型で世界に打って出ようとする企業があることを知ってもらえたら」

●大正区鶴町1-16-13
☎06-6552-0115
<http://www.fukuseikikogyo.co.jp/>



得意なのは「丸いモノ」
ベアリング保持器で
世界を狙う



昨年、技術開発センターを設置。ロボットなどの新しい産業分野にも進出を図る。

金型



成長し続ける、大正区の “ものづくり”プロジェクト。

大正ものづくり事業実行委員会では、区内の子どもたちを中心に、ものづくりの素晴らしさを伝える「大正ものづくりフェスタ」、実際の工場を見学・体感しながら、区内の観光スポットも一緒に楽しんでいただく「大正オープンファクトリー」、高校生・大学生を対象にした「インターンシップ」など、様々な“ものづくり”に関する事業を展開しています。

そして、平成28年度からは、全国の修学旅行生ものづくり工場見学ツアーを本格実施し、ものづくりの素晴らしさを体感していただくことはもとより、キャリア教育の場としてもご利用いただき、すでに1200名もの生徒さんたちが、北は青森県から南は福岡県まで、全国各地からここ大正区へお越しになっています。

また、新たな取り組みとして、都市滞在型インターンシップを実施し、大正区の生活(働くこと、暮らすこと)すべてを肌で感じていただくという事業も実施していく予定です。

大阪から全国へ、大正区が“ものづくり”のまちとしてますます広がりを示しています。

今後も新たなことにどんどんチャレンジする大正区の“ものづくり”にご注目ください。

